

2012 年度北海道サケネットワーク総会 議事要録

日時： 2012 年 11 月 2 日(金)13:00～

場所： 札幌男女共同参画センター 環境研修室

議事次第

開会の挨拶

議事

【報告事項】

1. 2012 年度活動報告
2. 会員の異動
3. 会員からの報告

【協議事項】

1. 2011 年度会計報告
2. 2011 年度会計監査報告
3. 2012 年度予算執行状況(中間報告)
4. 2013 年度活動計画並びに予算案
5. 役員改選
6. その他

【事務局長挨拶:木村】

2012 年度総会を開催する。報告事項と協議事項を含め、今から 13 時 55 分までに終了する予定。時間が限られているので、円滑な運営にご協力願いたい。

【代表挨拶:浦野】

今年度の会報を発行できた。発行が遅れたことをお詫びする。今号では北海道におけるサケの資源調査の歴史を紹介したが、東京に在住しているため資料集めに予想外の時間を要してしまった。しかし、若い世代は知らないような古い話も盛り込めたので、是非読んでほしい。

【議事進行:木村】

《報告事項》

木村:2012 年度の活動を資料 1 に示した。活動の一つであるネットワーク会報の発刊は、忙しい浦野先生のご尽力に依る。お礼申し上げます。また、ニュースレターを一覧表のとおり発行した。

会員の異動は以下のとおり。

- ① 日本釣振興会が組織改編にともない退会。そのため役員一名が退会。
- ② サクラマスサンクチュアリーセンターが入会。同センター事務局長の河村氏は前の

道立水産孵化場長であり、サケネットワーク設立にも尽力された方。承認を願いたい。

- ③ 名称変更： (旧)十勝川自然再生協議会準備会サケ分科会
(新)十勝川水系の生態系再生実行委員会

浦野:サケネットワークには入退会の規定がない。今回は、役員会で協議した結果に基づいて承認することとしたい。入退会の規定は次回の総会で提案する。

会員:異議なく承認。

《協議事項》

木村:協議事項に移る。

小川:2011 年度会計結果(資料 2)を読み上げて報告。

石黒:2011 年度会計監査報告を読み上げて報告。

会員:会計報告と監査報告に対して異議なく承認。

木村:2012 年度予算執行状況。会計年度が1月1日から12月31日のため、現時点では9月30日までの中間報告となる。

小川:2012 年度予算執行状況(資料 3)を読み上げて報告。最終見込み収入額が90560円、最終見込み支出額が49000円、2013年度への繰越金見込額が41560円の予定。

会員:異議なく承認。

木村:2013 年度の活動計画と予算案。情報交換の促進を図るため、改めて情報提供をお願いする。ホームページも設置しているので活用の促進を図りたい。

浦野:プロバイダーを代えて容量を10ギガバイトへ増やしたため、サケ関係の様々な資料を入れられるようになった。例えば、サーモン協会のバックナンバーも観られる。過去情報があれば、印刷媒体、PDFファイル等、何でも提供してほしい。ちなみに、googleで「北海道サケネットワーク」を検索するとトップに出てくるので活用してほしい。

木村:会報7号とニュースレターを発行予定。

浦野:サケネットワークの理念は、“サケ”をキーワードに“豊かなふるさとを残す”ことであるが、サケ以外のものも含めて良いのではないか。また、他の会員の特集を組めるかもしれない。「豊かなふるさと」を前面に出した会報にしようと思う。関連するものは何でも共有したいので、情報があれば提供をお願いする。

木村:ニュースレターの文責が木村から伴に変更になった。研究の話題が中心にならぬよう、周りから意見を出してほしい。

小川:2013 年度予算案(資料 4)を読み上げて提案。繰越し金41560円、会費83560円、支出は2012年度と同じだが予備費を64560円にした。

会員:異議なく承認。

木村:役員改選に移る。2012年度の役員を資料5に示した。今年は役員の改選年であるが、

事務局案としては「役員を継続」としたい。

会員：異議なく承認。

木村：日本釣振興会の山道氏の退会にともない、後任としてサケネットワークの発起人でもあるサクラマスサンクチュアリーセンターの河村氏を推薦したい。

会員：異議なく、拍手で承認。

木村：会員の報告に移る。

浦野：サケネットワーク会報の使い方を簡単に紹介しておく。画面の左にリンク先一覧を配置した。文章中の青文字は文献を示しており、クリックするだけで自動的に目的の文献が画面に現れる。画面左上の左右の矢印をクリックすると、会報の画面と文献の画面を交互に見ることができる。画面左のリンク先の上にある「しおり」をクリックするとバックナンバーが観られる。

宮越（北海道立水産孵化場）：北海道の漁業はサケ漁が終盤を迎えた。漁獲は昨年と同様だが、沿岸水温の影響か、サケが今まで遡上していなかった河川に出現。魚体重が平均 3 kg 台から 2 kg 台になり、卵も小型化。新巻用の大型サケが少なく、ブナ毛が多い、等が今年の特徴。

石黒（北海道区水産研究所）：サケの来遊が不振。北海道並びに本州太平洋岸の落ち込みが大きい。原因は不明。石狩川上流域におけるサケ稚魚放流の回帰が順調。

荒金（千歳サケふるさと館）：千歳川における捕獲が現時点で 34 万尾を超え、ふるさと館開館以来 4 番目の成績となった。水温は 20℃を超えた期間が長かった。観客にとっては好い状況。石狩湾の水温が高く、川へ直行したのかもしれない。

佐藤（豊平川さけ科学館）：科学館の存続問題が続いている。存続は決まったが、どんな形で残るのかは不透明。札幌市の対応する課が統合した関係で、具体化していないのが現状。

山本（東白石小学校）：サケ学習として、サケを題材に受精から親になって帰るまで、また、命と環境について学んでいる。今年も来週から活動を開始。

河村（サクラマスサンクチュアリーセンター）：道立孵化場を退職後、同センターに奉職。サケネットワークにも微力ながら協力したい。サンクチュアリーセンターでは、保護水面を活用した活動と教育を行っている。3 年前まで閉館していたが再開した。森と海、いろいろな生き物の繋がりを通じた地域振興、啓蒙活動が主な仕事。漁協の若者も、科学的な情報収集に協力してくれている。増やすだけでなく、別の視点から取り組んでいる。

寺島（大雪と石狩の自然を守る会）：サケの稚魚放流を 1983 年から続けている。2000 年、石狩川上流の花園頭首口右岸に魚道ができたおかげで、2003 年にはサケの遡上を確認。2009 年から 2011 年には北水研が毎年 50 万尾のサケ稚魚を放流。昨年は 3 年魚が遡上。頭首口左岸にも魚道ができたおかげで、遡上は順調。今年 10 月 6 日に初遡上を確認して以来、順調に数が増えている。石狩川上流の川造り懇談会では、河川環境の復興、生態系の回復、河畔林の回復を目指した活動を行っている。石狩川におけるサケの産卵床調査も進めている。昨年は本流で 126 ヶ所、忠別川で 181 ヶ所、

合計 307ヶ所を確認。今年は 10 月下旬ですでに 800ヶ所余りを確認。11 月上旬には橋の上からも群れを確認できた。しかし、小学生等が一人で観察に行かぬよう、注意が必要。マスコミも注目している。観察して感じることは、砂利が少ないのではないか、ということ。産卵床に使いそうな砂利が余っていない。砂利環境が心配。野生サケの定着は、市民を巻き込んだ活動へと発展している。

千葉(とちぎ帯広サケの会):27 回目の市民稚魚放流際を開催。前日の雨で開催が心配されたが、自然観察少年団の尽力で目的を達成。8 千尾を放流。

照井(高橋水産):中央卸売市場の過去 3 年の取扱量は 12~15 万ト。今年の予想は 1 割減。サケは魚体が小さく、4 kg 超えが少ない。入荷するサケの 3 割は生食用、7 割が加工品。中国問題も影響し、輸出が進まない。平均単価は変わらず、雄が 400 円/kg、雌が 700 円/kg、程度。

高橋(北海道サーモン協会):配布した 2012 年度事業計画と会報に示した活動のうち、8~9 割を終了。小学生のカナダとの交流は来年 3 月に予定。豊平川さけ科学館の稚魚体験放流とサケフェスタに協力。豊平川の河畔清掃、親子サケ教室を実施。公開市民講座では木村代表が講師となり、養殖サケより天然のサケを食べようと訴えた。また、サーモンロードふれ合いの旅では、日高の幌別川へ日帰りの産卵床観察旅行を行った。

木村:特段の追加情報はなく、総会を終了。

資料 1 2012 年度 活動報告 (2011 年 11 月 6 日~2012 年 10 月 31 日)

月 日	事項	主 な 内 容
'11/ 11.11	☆ 29	総会・サケ会議終了
'12/ 1.1	☆ 30	新年の便り:豊平川サケ科学館、千歳ふるさと館、サーモン協会
3.1	☆ 31	季節の便り:旭川守る会
3.11	☆ 32	東日本災害ふ化施設状況
4.7	☆ 33	季節の便り:豊平川サケ科学館、千歳ふるさと館、日釣振
7.22	☆ 34	日本サケ沖合調査 ・大雪と石狩の自然を守る会報 144 号 ・豊平さけ科学館・千歳ふるさと館・サーモン協会・執筆者交代
10.19	☆ 35	沿岸高水温の波紋・大雪と石狩の自然を守る会報 145 ・千歳ふるさと館・豊平科学館・サーモン協会・サケマス資源調査・東日本大震災とサケ マス・サケを考える市民の夕べ・会員情報
10.21	会報 6	・回帰行動の解析・資源調査・東日本災害とサケマス・サケを考える市民の夕べ・会員情報・総会議事録

☆ ニュースレター発行

資料2 2011年度 会計報告

《収入の部》

(円)

科目	予算額	決算額	摘要
繰越金	47,771	92,731	
会費	42,000	56,000	
寄付	0	0	
収入計	89,771	148,371	

《支出の部》

(円)

科目	予算額	決算額	摘要
手数料	2,000	680	
通信料	5,000	10,361	
消耗品費	2,000	4,240	
会議費	10,000	8,210	
会報費	0	0	
予備費	70,771	76,680	
支出計	89,771	100,171	ワードソフト 15,480 旅費 59,220 交通費 1,980

次年度繰越金 148,371 - 100,171 = 48,560

資料3 2012年度 予算執行状況 (2012年1月1日~9月30日)

《収入の部》

科目	'12年度予算案	9/30 現在収入額	最終見込み収入額
前期繰越金	23,681	48,560	48,560
会費	42,000	3,000	42,000
寄付	0	0	0
合計	65,681	51,560	90,560

《支出の部》

科目	'12年度予算案	9/30 現在支出額	最終見込み支出額
手数料	2,000	120	2,000
通信費	5,000	440	5,000
消耗品費	2,000	1,660	2,000
会議費	10,000	4,400	10,000
会報	0	0	0
予備費	46,681	7,440	30,000
合計	65,681	14,060	49,000

2013年度への繰越金見込み 90,560 - 49,000 = 42,560

資料4 2013年度 予算案

《収入の部》

(円)

科 目	前年度予算	'13年度予算額	増 減
繰越金	23,681	41,560	17,879
会 費	42,000	42,000	0
寄 付	0	0	0
収 入 計	65,681	83,560	17,879

《支出の部》

(円)

	前年度予算	'13年度予算額	増 減
手数料	2,000	2,000	0
通信料	5,000	5,000	0
消耗品費	2,000	2,000	0
会議費	10,000	10,000	0
会報費	0	0	0
予備費	46,681	64,560	17,879
支 出 計	65,681	83,560	17,879

資料5 2012年度 役員

代 表	浦野明央	北海道大学・名誉教授
副代表	寺島一男	大雪と石狩を守る会・代表
事務局長	木村義一	北海道サーモン協会・代表
幹 事	市村政樹	標津サーモン科学館・学芸員
幹 事	千葉養子	とちち・帯広サケの会・会長
監 査	山口洋一	えにわ市民サケの会・会長
監 査	石黒武彦	水産総合研究センター北海道区水産研究所・ 特任部長